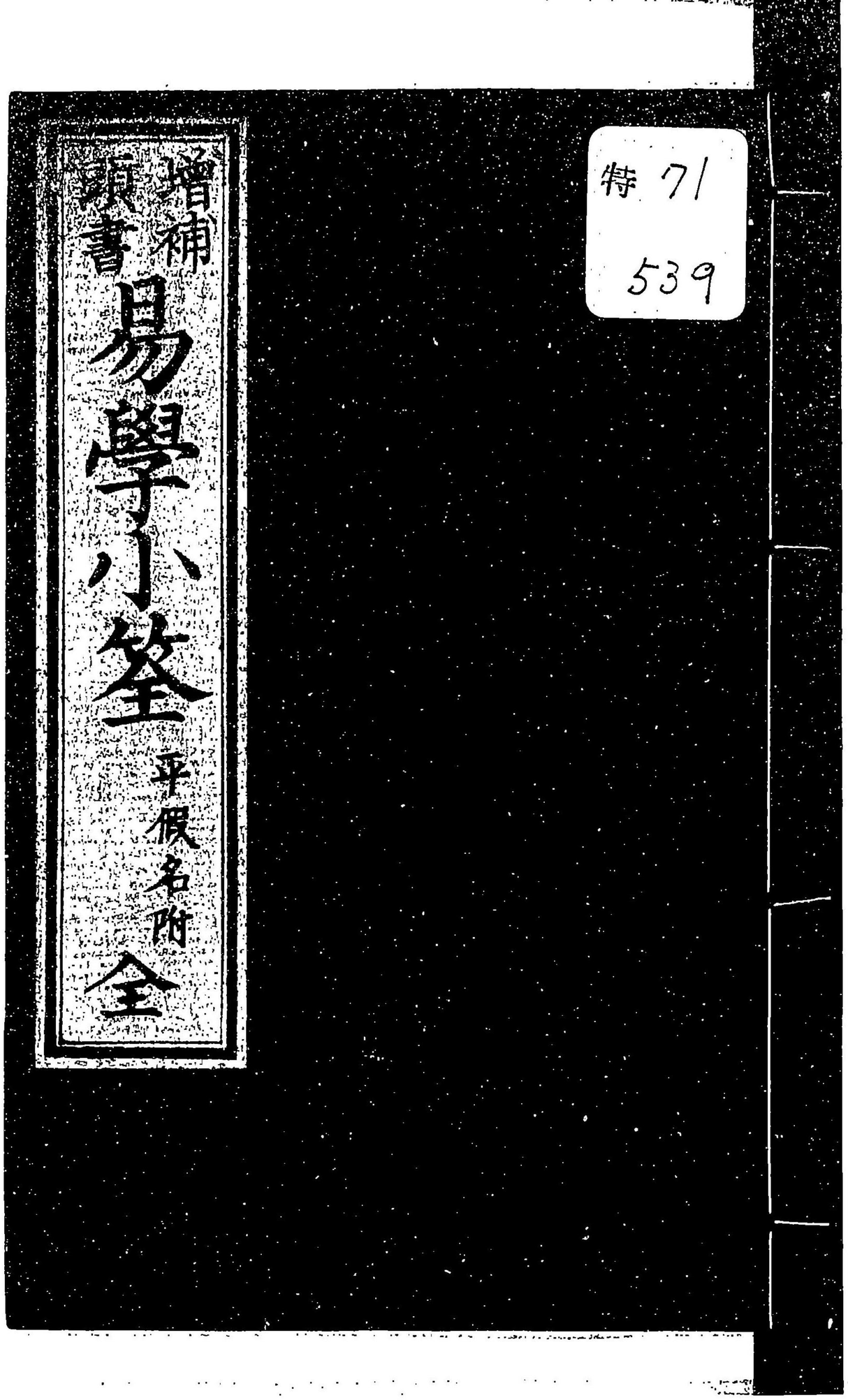


特 71
539

300904-000-1

特71-539

易學小筌　平假名附（増補頭書）

新井　白蛾／著

M24. 1
AAK-0003

特71
539

新井白蛾先生著

増補頭書

易學小筌

平假名 全

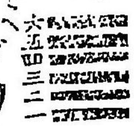
東京書肆 全成堂

52. 6. 9
77W21670

蓍を取るの口傳書

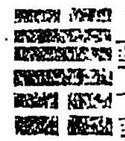
蓍を取るの法ハ古より品々あり詳ニ定本易學筌ニつまびらかなり
小筌の秘事なり今用ゆる所の筮竹五十本此内を一本除いて用ひず
太極に擬す四十九本を左の手ニて一振りに持ち右の手をもつて添へ揲
[illegible]假爾泰筮有常假爾泰筮有常と祝文を唱へ念願し耳て筮竹を二つニ
[illegible]平等ニわけて右を机の上ニ置き其中を一本取て小指の間ニ挟む是を
[illegible]左の手ニある所の筮竹を右の手ニて二本づゝ四さびしと除くかくのごとく
[illegible]の数ニて卦を立つる掛扐も数ニ加へ算竹一本余りたれハ乾
[illegible]二本なれバ兌三本なれバ離四本なれバ震五本なれバ
[illegible]七本なれバ艮八本なれバ坤此除きやうをしてあまり形きと云ハ
坤[illegible]下卦とす又始の如く今一度筮竹を取り其あまる卦を上卦と
す右下卦上卦と組合せて卦の名とす凡六十四卦の内何れの卦に當れずといふことなし
而して後ニ又四十九本ハニ合せて此度ハ二本づゝ三度くと除く時ハ負へ除き残る
零一本あれバ一爻變二本あれバ二爻變と段々ニ下より頭ニよる是を除き

卦一変すれば六爻皆変ずと知るべし　地変卦を取るまもなく蓍の策を掛扐を
一本ふ指の間に挟むべし　又上筮竹を取る事下卦上卦変卦三度して本卦
変卦なり　爻の圖



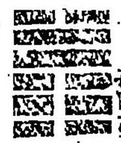
下を初一爻として上を終六爻目と知るべし
卦を取るとき先ず初の下卦の筮竹取るに負て掛扐すれば二本あれば☱兌の卦
☳震の卦なり又上卦の筮竹取るに負て掛扐すれば二本あれば☱兌の卦
なり下卦上卦合せて澤山咸の卦となる左の圖の如し

本卦　上卦一下卦



たとへば変卦三爻あれば三爻目変ずるなり本卦の三爻目陽爻なれば
陰爻となれば陽爻と変ずと初る爻　余は是に準ず

變卦



上の如く本卦は澤山咸変卦は澤地萃と覚えて本筮の爻を考へて判断すべし

乾下卦之部

乾為天	初	丁	
火天大有	九	丁	
風天小畜	六	丁	
山天大畜	十	八	

兌下卦之部

天澤履	七	丁	
火澤睽	二	十七	
風澤中孚	四	十二	
山澤損	二	十九	
澤天夬	三	十	
雷天大壯	二	十四	
水天需	四	丁	
地天泰	八	丁	
兌為澤	四	十	
雷澤歸妹	三	十八	
水澤節	四	十二	
地澤臨	十	二	

離下卦之部

天火同人	九丁	澤火革
離爲火	二十一	雷火豐
風火家人	二十七	水火既濟
山火賁	十四	地火明夷
天雷无妄	十七	澤雷隨
火雷噬嗑	十四	震爲雷
風雷益	三十	水雷屯
山雷頤	十九	地雷復

震下卦之部

天風姤	三十一	澤風大過
火風鼎	三十五	雷風恒
巽爲風	四十	水風井
山風蠱	十二	地風升

巽下卦之部

天水訟	五丁	澤水困
火水未濟	四十四	雷水解
風水渙	四十二	坎爲水
山水蒙	三丁	地水師

坎下卦之部

艮下卦之部

天山遯	二十四	澤山咸	二十二
火山旅	三十九	雷山小過	四十三
風山漸	三十七	水山蹇	二十八
艮為山	三十六	地山謙	十丁

坤下卦之部

天地否	九丁	澤地萃	三十二
火地晉	二十五	雷地豫	十一
風地觀	十三	水地比	六丁
山地剥	十五	坤為地	二丁

○そもそものもろ〻ありてかなはずまことにあるべきことをもとめて
かげありてかたちのあきらかなるがごとくなり▲日月即ち明のうらなひ吉▲
ところあり▲ところ
ぎーのぞむところ易學小筌

新井白蛾先生著　門人　山熙　校

乾爲天　春吉夏凶秋平冬吉

龍示變化之象
萬物資始之意

家大名以上の貴人に吉なれども平人に
中ふ營利に出家などに吉事
理義とは人合て義とと
進と退退に吉○物で離義

新金一

○乾の道は進ずして退ずるを吉とす▲線と
なり▲爻卦に進ずして退ずるを吉とす一爻卦
のことのぞむのろ爻ずもれども爻そろふ人とけろときいすとくなる一▲爻

どころをとらへ玉ばさるのるゐあし▲婚姻ならふなれどもならぬまゝ懐ありなり
りまきに発元におよぶのこゝろあり▲縁組せんとするの邪魔ひざるあし
どなこの卦より
変んじて他の卦
なりと知れ活き
をみけあり▲まちく
あそて▲うせもの
かなし西南の方よ
あらべし▲てんき
気つのちはひより
よるへあめふるなり
▲古人いとりまげ人
のさらはたるへする
人の気代のてらんと
おりきたるへ▲おもひ
人おもふべき人おこう
のほかの人おもふ卿諸の人なり▲離れの理あり人まちなり▲うらありてあるなり▲たり
くこゝろなり▲みけんまきこりの▲めらさぬりの

おこる心ありて又逆事をなさんとする事は凶なり○住居
事業ありあるひは住居を離るゝの事ありて○損
失あり又盗難を防ぐべし○病難を慎むべし病
は凶なり○遺失は出べし○縁談は安らんよし又来
路を成ば願望成就しがたし金銀などを借て
労ありとも後に潤ひあるべし○待人ハ来る
するなし○物を尋る所あれバ人に問べし
しと知べし○婚礼ハ半吉大抵ハ調ふれども媒を付て妨あると

○賢者の志あり
されども一たび誤りて
渡世すくなるゝ
かれバ損ありて渡
こくなり労して後
ふるゝし▲若人
ふへんとなるべし
おいそぐ▲いろいろ

あり○物の始と終とを並備ふる気象あり又物
の首となる意もあり○人にたよりなくてはま
けてあり○此卦ハ当世の人にハ利しからざ
俗に以位負のすることなり

䷁ ䷁

坤為地 こんゐち

▲老陰万物生載君臣和ス

含弘有斐之象
品物資生之意

此卦ハ地の徳母にして万物を生養する理あり故に之れ
を本に苦労ありと知べし○願望調ふべし○婚礼ハ吉
しくひありてやせぬ事もありて此の卦に出られバあるべし
ほとろなるのるさりなれバも多して吉事もなし縁組せんとし▲まひごと

▲うせものは西南▲てんきは▲古人いまだかへらず▲たびは▲大ぜいたち
▲すりはにげさる▲人と交はりをなす▲うらないは▲こまかなるもの
▲外出は▲殿さまに▲願ふべし▲急にまれべさつり▲よし○▲猶
▲学問は○▲病人不来○▲病症▲治する▲医師○▲病気
▲なりて▲力なし▲人と▲得がたし

水雷屯

▲難也屈也聚也

▲草木の▲芽出て▲未伸の▲意▲方事に▲付て▲能
▲はなれども▲相違▲なし▲数とる▲まりなき▲意なり○▲就
▲の▲水中に▲物の▲ある▲部▲れば▲煩▲はなし▲安かるべし

龍動水中之象
草昧不寧之意

○▲このようなことは▲なるべきなるの
▲兆なり▲ひろふべし
▲微妙の▲理なりつとし
▲むべし▲我より▲あとの▲ひとびと
▲のぶむのべひ小
▲あどころ
▲風となりとむる▲のなるべし▲あまでもの
▲ぎせるとすべし▲おれ▲ものなるふるとし▲我

▲猛▲をうべつねにちゝむべし▲てんきは▲人のなりあるべし▲大
▲ことにして▲苦労せし▲人▲とるかうそなりつけるもの▲下の▲用よりもの▲ちかきさ
▲ちゝくるもの▲はゝ
▲ふそんなるもの▲ちゝくむ
▲ねゝくるべし▲
▲かさまるべし▲けむり

と▲成▲人▲住居▲よ▲分て▲事こなりと▲知るべし○▲大
河▲の▲際で▲流れんとする▲の▲ものして▲見べし▲安うの▲時▲苦
なれば▲難▲なりと▲知べし○▲水難▲とは▲放▲逸▲五▲を▲矛を
▲悩むべし○▲金銀▲ふ▲分て▲悩なり○▲天運▲いまだ▲盛
ならず▲物で▲遠▲ふ▲遠て▲利べし○▲潮▲ふ▲物の▲変なり
▲書▲吉▲なるべき▲なり▲○▲婚姻▲吉▲なるべけれども▲変
▲なって▲縁ふ▲吉と▲なるべし▲大▲縁▲遠▲帰○▲猶▲不安○▲病
▲者▲二の▲文三の▲文▲衰ずる▲月▲西なり○▲神▲人▲あるべし

○運未来れども尊き事知の運ひらくるべし

山水蒙（さんすいもう）くらし

△昧也 蒙也 春滅

巖険雲烟之象
生花未開之意

此卦ハ童蒙の義にして物の明白に決断して調ひを
はかりがたし然ども漸々と事の知恵付きて後ハ宜しき
向と知るべし○急なる事ハ皆宜からず○物の数に入交
する象なれバ人も昔若き者多くありと知るべし就中下
ば物を尋つぬるに石てる乃識乳たし○増長して偏ち

○おすふさだりて来ま
ら義ずわかふさがり
うそてうぜざるとも
わりてその言をふん
こ命りミせバ人に吉き
肥だり來吉なり若く
らうかなんしそ後に
ゆりし吉なるべし
△つくおそうし乱いり
△ざいくすれあてことあそ
む皆らのひがし
たるもひへうてがいしく
たらひハさまたげられ久しく中だりかるべし△こんれいおりがたし△あらそひハよろし
うろび△病ひハ長引くながし△うせものいでがたし△まち人きたる但しとちりてそでこわりあるべし△外よりの
すゑひさしければ大すけらる名御読を用しむべし△てんきハ雨ふる△古人ハたすけらる
ら子どもハ女ハまゝふたる人の文をけるか△いろどりのよう△こでなりの△ららひよき
の△まさりこがきさ
るりのう

○願ひ有べし勝べし○往て物の念入てさるるひ
よろしく人に遠てさるてとがりんを付べし○ひ
中に願あれども人に任みて云難き事あり云
出してもまるよ微かなし○飛懸ありて能し
云の交際されバ危とし○病ハ長引もの急切なし
○運未だ来らず○待人遅し争事にて滞るてとかん

水天需（すいてんじゆ）まつ

△春没

密雲不雨之象
雪中梅綻之意

○中るふの義ひがる
の意あれども才そ
うふぞのひらけする
がひ為みくめいさくも
う文かとうひてうるなるひへわらそひだるる△まのぞてのびよしてハできびせざんなくえしく
しそのおふなるべし△とうしうのうらあひハよろしかしべ△揉をいとなむ代のすむなく穴に於

らのふ▲ねどころをうつし あれきるのあるさわりあり▲さんさわりなし▲まち人きたるべし
▲うせものいだれども きえずふみえず わのきり▲てんき ひかりあり▲たび人ハかくれ あやうし
人のたすけにならる
人り▲そん利あり
▲えんへんなり▲まぶろ
なりなり▲とんやくかんい
▲ひさしくわかる
▲ぐわうふするのみ

此卦ハ訟爭をまじへする義識ぶしくして雷之郎を訟
義まあふむりかるくしする時ハ天之雷へ往くに逃と
まろて居るむかすべし ○ 家中ハいれども時に浮べ
あらびを知らぬ者の身を慎の意を極めつゝわふ
て居るの者やふぶべし ○ 爭ひ事ハとせば避難に踏る
身をの志を ○ 住居をかへる事ハ不可 盗賊の難を
防ぎ慎べし ○ 婚姻凶 ○ 病ハ長し ○ 病ハ医
○ 失せもの急にもとれず ○ まち人ハきたらず 遅ハ来るとし

天水訟

天水違行之象
田獵無獲之意

此卦ハ上下別〳〵にあつて相交らざるの義背爭ふ
卦なり ○ 訟爭調ひがたし ○ 心身安からず憂悲を
起し ○ 爭論するを惜むべし ○ 貴人に對し我心望を
遂ハ我より目上の人に逆ふ事を慎て種て居べし ○
盗難を防ぐべし ○ 疑ひ事ありて親子兄弟の間ハ議る
○ 婚姻凶 ○ 病ハ長患ふべし ○ 産平安し ○ 失せもの遠し

○人に和せざるときハ くるしんでやすから
らずあしきひとに遇ふ
▲願ひ事叶ひとせん
され共ひかへるのときハ
なればばんじよろし
つゝしむべし 必ず
まちとまりてさん
どうするときハ あれば
とがなし 訴訟に
てらへのうむのあらそ
あらそひ事あらむ
るべし▲あきなひ
かしつねの
のたびひろうしかるべし▲えんだんわるし▲人をまちあはすべし▲あらそひでもしんしれ
ども死せず▲うせものハ左右の人をたづねべし▲てんきあめ▲たび人ハ

師ともろう▲かくみのうちふかるう▲上下すきもちぐんう▲ゆそひもとちろくう▲さーあむう▲
今いまさるもの▲うぢたるもの

迫くたうれ求むべし○侍人すべ

地水師

地勢臨淵之象
以寡伏衆之意

▲天馬群を出る

此卦は大人の酒にして出る孝なれば吉なり利
人を大抵利べしひと惑むべー○猛風
心事若わり振ひるべし○人なかさ
意なり大人を言ふ○物の入船て解ぐこと
○人のひとる陽なり事よりて考食し○濕潤

たるまず▲事ひでとにかうしすーしとを名なるひきーきすひひつべー▲うせるの出で
ぐし▲てんきされる▲古人があるをひなるのひのーるとなるうんとなりやくよせうう▲
たびのう▲はなさるる▲
金のうう▲さーこむ
ろ▲ろをてり▲交全
▲あーべるう▲ろぐきる
ん▲うずあるう▲むす
ぶれるう▲なりあ
たすりのう

○うあるてされ
ようこびひとを右わ
て親しまるの人
なり長をうて
ようんぶかまをして
されどうるのうまわ
りのあるさかん人へ変しーずうとかひまるふのまなりうるの
おうどうやーーうれどもどうなりなり▲事縁とるむてきまてされば人とれなすひたす

遇くたうれ求むべし○侍人すべ

地水師

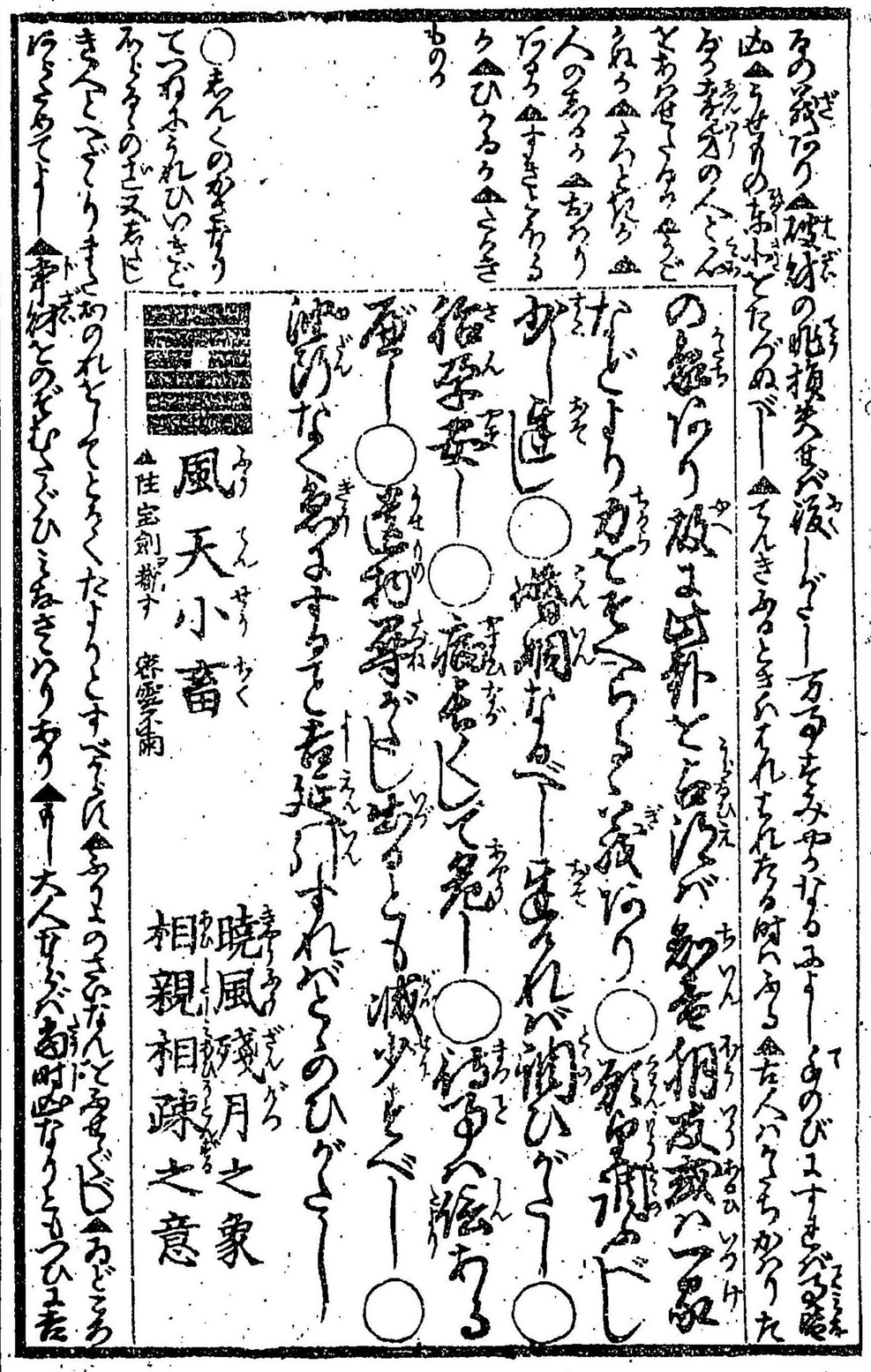
地勢臨淵之象
以寡伏衆之意

▲天馬群を出る

此卦は大人の酒にして出る孝なれば吉なり利
人を大抵利べしひと惑むべー○猛風
心事若わり振ひるべし○人なかさ
意なり大人を言ふ○物の入船て解ぐこと
○人のひとる陽なり事よりて考食し○濕潤

たるまず▲事ひでとにかうしすーしとを名なるひきーきすひひつべー▲うせるの出で
ぐし▲てんきされる▲古人があるをひなるのひのーるとなるうんとなりやくよせうう▲
たびのう▲はなさるる▲
金のうう▲さーこむ
ろ▲ろをてり▲交全
▲あーべるう▲ろぐきる
ん▲うずあるう▲むす
ぶれるう▲なりあ
たすりのう

○うあるてされ
ようこびひとを右わ
て親しまるの人
なり長をうて
ようんぶかまをして
されどうるのうまわ
りのあるさかん人へ変しーずうとかひまるふのまなりうるの
おうどうやーーうれどもどうなりなり▲事縁とるむてきまてされば人とれなすひたす

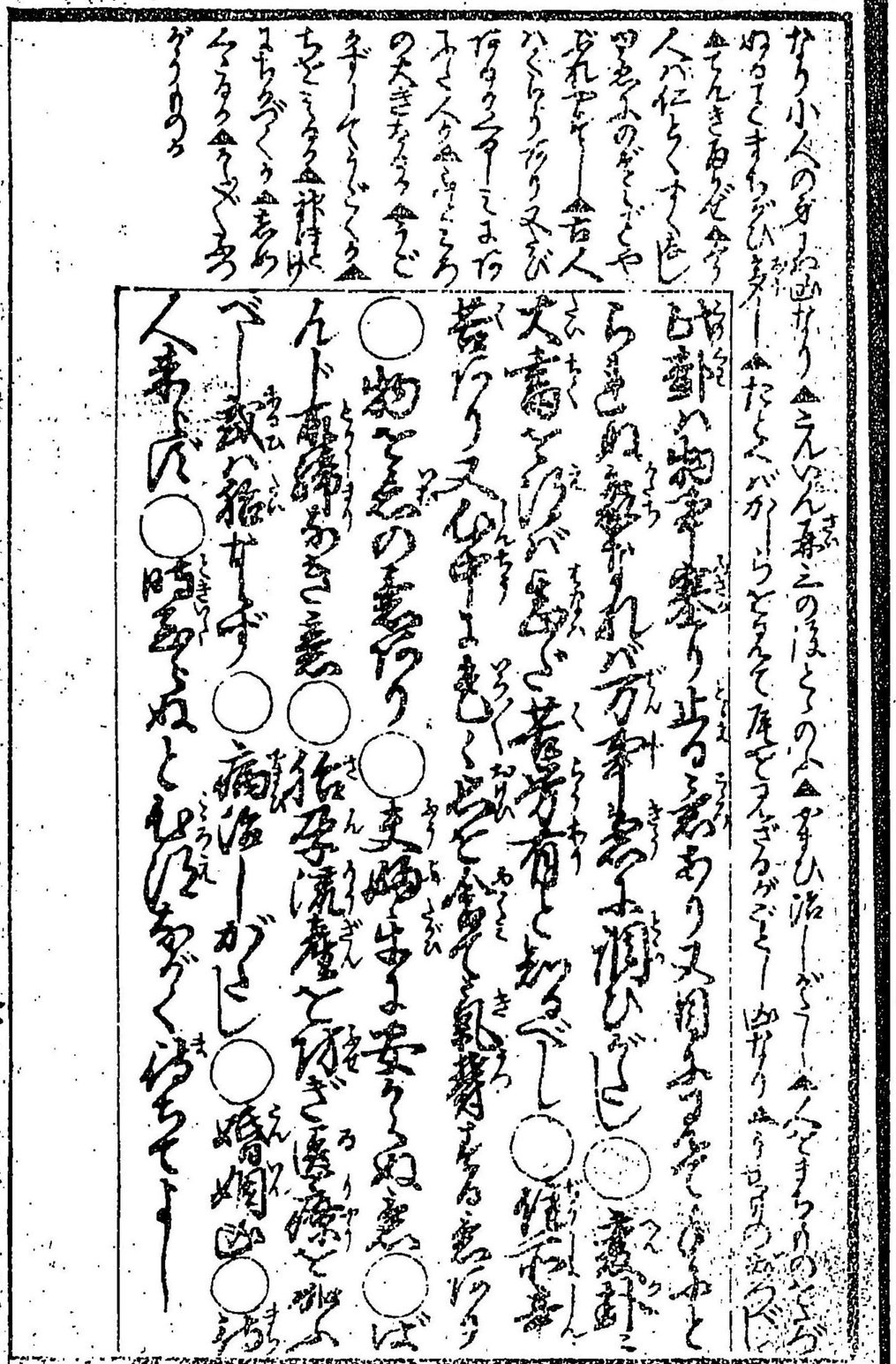


風天小畜

▲注宝剣鞘す　密雲不雨

暁風殘月之象

相親相疎之意



○あやうきことありてもおそれずおどろくことなく…

䷉

天澤履（てんたくり）

△安全の中に危難を防ぐ

尊卑分定之象

如履虎尾之意

此卦は礼義の心あり又進むの義なり始めは難儀なれども…ある者ありて後は悦びとなる事あり

○身分より大なる望をば有とも叶ふべし

○人に交際るの義ありて…

○行者は旅にて…

○…

䷊

地天泰（ちてんたい）　やすし

△小往て大来る

麟角有肉之象

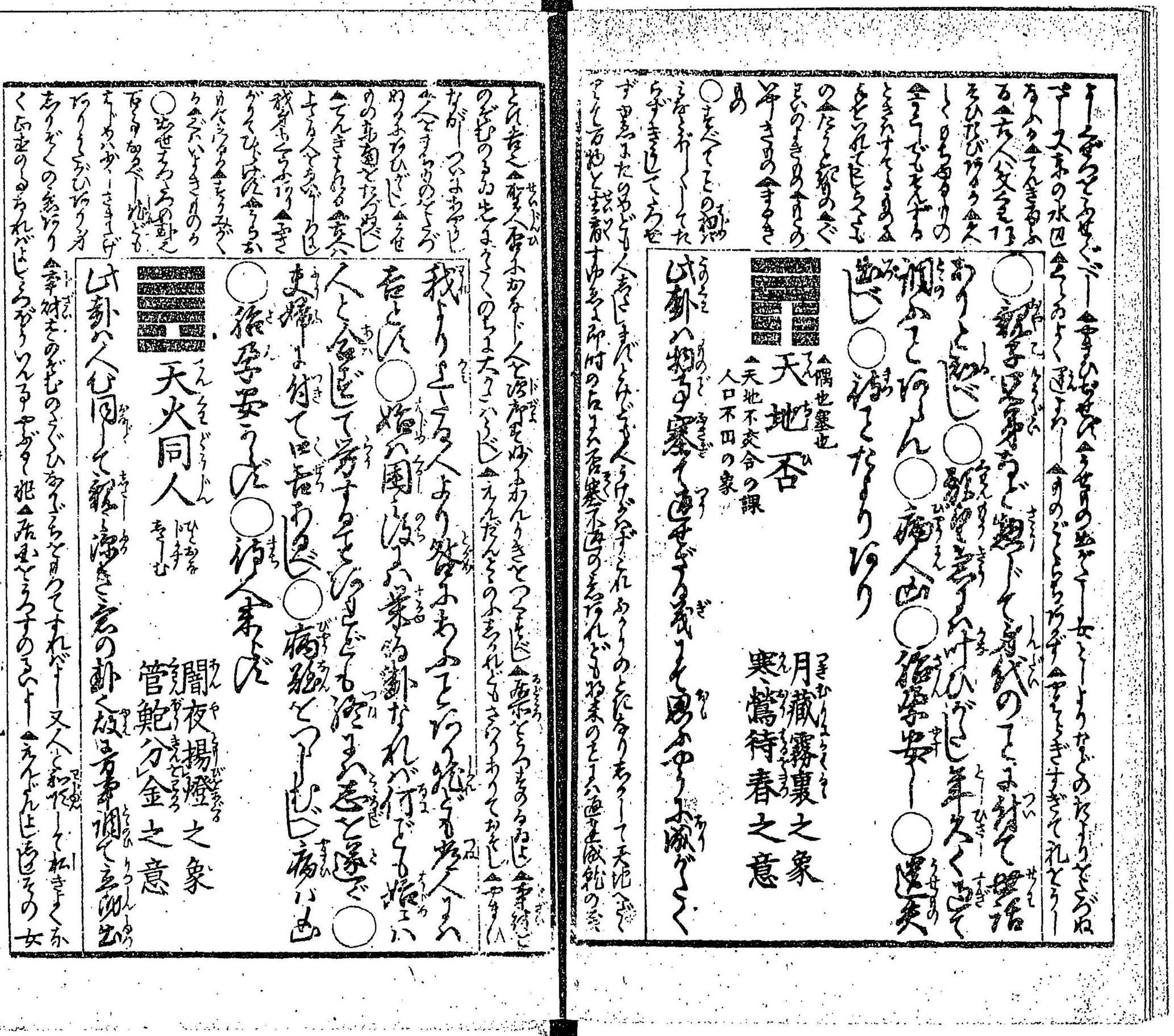
雁至衛陽之意

此卦は男女人の交る事とする…

○縁談は…

○色情の…

○病は…



○月藏霧裏之象
寒鶯待春之意

偶也塞也

天地否

天地不交合の課
人口不四の象

爻辭に物を塞て通ぜざる義なれども窮まり通ずるくるしみ

○我より先に人より驚ふるとも人を害せざれば害なし○始は困しなれども後は業なれば何ぞ悔ん

人と合ぶて労すれども終に志を遂ず○婦は付て吉あり○病強とも心は安し○病人未だ

天火同人

闇夜揚燈之象
管鮑分金之意

爻辭に人と同じて野に澤を合の卦は方事調て亨通出

〔前頁よりつゞき〕[illegible]

火天大有（くわてんたいう）　たもつ

金玉堂に満る

穿窓開明之象

深谷發花之意

此卦ハ日の天上にありて照り渡る象にて人の時を得[illegible]

世に出るべし[illegible]○人より頼まるゝ事あるべし○[illegible]

卦ハ[illegible]なれバ[illegible]○病人凶○[illegible]

も[illegible]人[illegible]ひ[illegible]○[illegible]

婚姻ハ平なれども[illegible]の[illegible]あり○待人来る○

造作[illegible]○[illegible]なる事を慎むべし

[illegible]

地山謙（ちざんけん）　へりくだる

登山平安之象

稱物平施之意

[illegible]たる卦なり[illegible]

[illegible]すべて[illegible]あり又

[illegible]

[illegible]○[illegible]叶ひがたし○[illegible]

[illegible]○病人[illegible]○[illegible]○婚姻[illegible]

[illegible]

○[illegible]

凶なり財宝ハぬけどもむるのあるハ人をそこなふる者なれバ恐るべき故凶也 ▲旅立を去るたゞひさ
ニ勤こ源ニさまよふなんあるべし 或ハ盗ニふゆる者あり ▲待人ハきたらず ▲病者ハ久しくて涼く
さらに/\くだらず[illegible]
▲失物ハ出がたし
ある[illegible]
▲古人ハ田土の人ある
口舌なる事[illegible]
[illegible]
なるかな ▲男の子さくら
のり ▲細工方の良い
ものか ▲書ひきあ
り ▲色[illegible]をあり ▲
むすぶ[illegible]て
もの

此卦ハ先ニよろこびて後ちに悔るの卦之故に何事も
潤ひがさく苦労多し物事不自由なれども後ニハ恣ニ
利を得る ○旅行ハ心よくすることよし又人ニ化
て苦労多し剛毅を出せバ凶なり ○家ハ縁遠とする人
まよふかれば[illegible]を云ふなり ひくぜると訓
とあるのみ ○婚姻成べし ○産ハさかり安し
○病治しがたし治するとも出し ○待人ハ来らず
とも遅し ○失物見出ねがさし

○万物和悦して人
心を和楽して音楽
する卦なり又[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

䷏ 雷地豫

雷出地奮之象
行止順時之意

此卦ハよろこぶの義なり雷地上ニふるひ出て天ニ
登る時なり人々ニ至りて出世の悦びあるとも昔
ハ孔明南蛮を討んとて進して此卦を得たり
勝利を得たり ○住居ハあらためてよし又新規の
事もよし ○新規の事も[illegible]ある ○[illegible]
とせずれバ大ニ[illegible]てあるべし ○婚姻成就し

しかし此卦を得るものの住居安らかにして家[illegible]ずといへども彼れ[illegible]
の義あり是又一段ふかしずんバあるべからず ▲術事を求るの[illegible]してある[illegible]

てのちとの△吉凶を改るの数年なりそろそろ動すべきなり△嘆りの
難るあり 動搖ちそれ拙安らべ△病悩せんと△天時ちれる△古人い仏祈のちんなるべき人
う修り去△ちをひ
びきなるもの△ちず
のちるもの△ちろ
ちるもの△ちとき
もの

女の家ふ喜なり○病悩又生一○治学安らべ
○婚姻ちねがひ○行人来れども逢中遠なり
○澤に出べあり

澤雷隨

来馬逐鹿之象
我動彼説之意

以前ハ小女の為に陰中を意なり我動彼説ぶ有り
陰中と云おもてよりたゞ面ずるの義なり○又相木変
義なるおちれべ物の変て喜なるべ但女の喜なる又ハ敬
△三ちらくるもの

ちと去ちう変て喜○又陽表なるのかくて誘るの
義なり○人と待信るる○婚姻ねがひ○治学
陽なり○病悩○笑為婦人ふ求むべ○
望病ふ○牛馬ふ牧て陽て喜ふ面ずるの意なり
○女為て陽ふ功ぐべし

山風蠱

門内有賊之象
石上栽蓮之意

△三ちらくるもの

以前ハ山中ふ風と合人出ー振るの意ふて落ちるふ財て

○蠱ハ惑なり
こぶるなり人をまど
ふ乱なり卦ちるふて
すべしべ蠱ハ
生べ又ハ乱まり
なり○ハ年腐しん嘆ちる蠱の義なり又らん
病ちん蠱ちんをぶおよそ事のちんくふあ

きたる外よりのいらずして内より出づる象なり百事つゝしむべし▲五爻は大位四爻の人よりうるべし去ることなしこれのべうしなべ▲五爻を起すのうちもとづきうるもよりやすし四爻を去ればかくべし

▲婚姻は安うしべ

▲失物あくまるれば去ればよけれそれば来くるうちさる▲まち人来る▲天時は方人分なるいきあひなる人▲物をつるる▲幾の中のうげてむふり▲そわくれまちなり

▲かゝりなるもの

○かゝりなべ

雜爻は或はそなること行り膳べし○部屋叶ひがたし其外百事○外の中は若労あるべし又病雜爻は悔むべし○年ごとに悔むべし○病重し又大凶と安く治ること有り

○婚姻は法なるもの○老人祝きに人よ客ざるる表なり○住所を失ふ種のうるべし

地澤臨

雜也臨也

黄花叢生之象

少女從母之意

▲卦は変ぜず爻うて祝む卦なり故よ物事柔和よ

▲人に迫られてすむ表なり故よ女難を怪しべ▲行事を求るのるひとるべ一方をとるの表▲猶安一産母多ぬの傷あるべ一悔むべ▲妹事を求るのるひとるべ一悔むべ▲行人まち▲来物遅れべ

▲婚姻は安一

▲病人は安し

○病人は安し

○婚姻吉

▲かゝりなるもの

○かゝりなべ

▲人に迫られてすむ表なり故よ女難を怪しべ▲行事を求るのるひとるべ一悔むべ▲行人まち▲来物遅れべ

▲婚姻は安一

▲病人は安し

○病人は安し

○婚姻吉

▲かゝりなるもの

○かゝりなべ

風地觀

風揚塵埃之象

見華遇雨之意

▲卦は大元表なれども時にて雲の起るがごとく思ひよらぬ

○中西の徒なり人人よりあがるの卦なり老人のごとき人なれども人よりあがるの卦なり又人とまれ千人とまれ千人なり

[illegible]

すこしも出来じ苦労することは多べし然れども人は仰ぎ
尊まるゝの意ある卦なればよく外よりきたるを拾ひ
魂にしたがふべし○又風の地上を吹上て紛乱なり
万事に騒動の義とす故におさまりて騒乱の間の座○又
風の行は物を動揺すれども住所を付て変動
ある意もあり○井の中に金ある意ありて吉事
あれども急に叶ひがたし○人に交りてまさるよし
あり人にまよひ若会すべし○婚礼の義考べし

○集衆しせん [illegible]

○如のごときもの噛むべし○始はよく後はよくのしぶる
の意あり○縁談調ひ難し○雑事だはつかれん
外邪は防ぐべし○失物得がたし○病治しがたし
○待人来らんとして来りがたし

火雷噬嗑

△日中為市

頤中有物之象
夫婦怒闘之意

此卦は頤の中に物ある意にして法事人に隔て
られ障りあり然れども糴合をして通ずるの義

[illegible]

うせなふたりをひきうしなひたるなべて吉凶天時百事にしるる書ちる人へ面をいつかりたるべしいきわひあり人引ひけるとりたり人あるべひろけるもの

ひれ婚姻大潤ひごとくとも後ろへ潤べし○又雖の澤よかくるを嫌ひあるれ如なれば繼氣桃

ひとしんで温和ふすべし他ざれば四海平ぐと公事訴訟おの澤ひとり結むべし○婚姻如る

べし○祈願平ありれども益ありよりて喜ひとり

結むべし○光明遠べし○病医○待人来る

門内競美之象

明不及遠之意

○仏ありかざるを教義ありなと傳て

家を潤ひ文をまなび

和歌を嗜まとを語吳るは賢ちり故を屋ちりとなるの家をつぶしてて滅ぶべし

▲山ハとを大をとなげて山の法也をえるを糸ありはけくなざるの家をとす故ふふるの

山火賁

次じ大事ハ潤ひごとし▲成事とりむるなるべ然れども陸

なりーなどしまを用ひ繼ぎまよりて破るをとなり▲滑故べし女ぐんきなるべし又歌よりの家成

ふるむ▲病さんを

なるべし▲待人来る

をそれば来べ▲

ありを年の破れを嫌

むべし破るべ

▲天時百事

人勢に強く文を

ちるを祭りもべ

くある人いる▲

文をわ▲なくむる

よきを▲つをみあり

▲引ひけるもの▲み

ごとなるもの▲つ

きあるもの

虎の林に出て虎ぶの象なり物のうるべくく

又威ひるを出るを○亀鶴出世ひるべ○住所

を波るをよ嫌ひ吉○家居安穩吉物あり

まで見るを解のを○まちびこそ人と中

絶まる事有べ○後を宮と○氣を

ひとしむべし○求ると叶ふ高のれども潤り

で急を潤ひごとき家ひ○光名より大きある

事成ありをれべかなべ換ひ小ちるをよ

○婚姻なるべし仮令妻を選び○猶厚妻を娶び
○病急にして○逆失おりちくたづぬべし○待
てたちまちかりまたまたちまちべはなたずおそ

山地剥

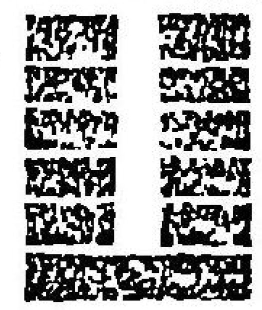
鼠穿倉廩之象
去旧生新之意

○剥は拆末の業なれば数ものの部なれば
より新鮮なるものとなり婚姻より始まりて新
を求めて古きを捨てるなり剥は脱なり

○剥へ変ずるときは
物のうちのかるなり
故なるとは故名とも
うつもの主長物の
空中ようなる
たちまちに人を必ず
心中多く驚かるべし
こそ
て剥
古脱
剥は落なり山の高きに地上落ちる象なり丈落なり人の安堵の象
去なんとすれば去るべしあるのたとひ去地あれども
人も分のよの安堵なるべ者なるの
意なり仮令○時は去るの義なれ
ずすみやかのかるべよく
見遠ひして事をやめるの意なれば
べし○人は邪魔を入れらるべきの
よりむかふ物を去るけるべ○くの他より
去る意なり去るものの行去るの意なり○
時なり人なひ思ひ那生きまちぎる意なり
剥は落なり山の高きに地上落ちる象なり丈落なり人の安堵の象
去なんとすれば去るべしあるのたとひ去地あれども
人も分のよの安堵なるべ者なるの
意なり仮令○時は去るの義なれ
ずすみやかのかるべよく
見遠ひして事をやめるの意なれば
べし○人は邪魔を入れらるべきの
よりむかふ物を去るけるべ○くの他より
去る意なり去るものの行去るの意なり○
時なり人なひ思ひ那生きまちぎる意なり
▲剥は落なり山の高きに地上落ちる象なり丈落なり人の安堵の象
去なんとすれば去るべしあるのたとひ去地あれども
人も分のよの安堵なるべ者なるの
意なり仮令○時は去るの義なれ
ずすみやかのかるべよく
見遠ひして事をやめるの意なれば
べし○人は邪魔を入れらるべきの
よりむかふ物を去るけるべ○くの他より
去る意なり去るものの行去るの意なり○
時なり人なひ思ひ那生きまちぎる意なり

○復ハかへるくわの
まぎさきつてまでを
トせるなり又志つさ
がをとりてそらいく
ゆきまさ吉あり從ひ
あり出年の後ら知
てのびりせんごく
の世路を志す法せし
くの意なり▲復ハ重なり動あり再あり故ニ再ミとへて吸べし▲此卦ハ来るのこと

○求ハ吉なり○婚礼凶○病凶○産子凶し
障を生ずおよんで節せバ安しとすることあり伹
母ハあやふし○失出べし○まち人信
あり



地雷復 陽来復

地堀得宝之象
破屋重修之意

此卦ハ物つきて又始むの動なれハ一度ハあしくとも
まづくよき事をむかふ時節よして滞重し

を放れず故ニ心友に従ひてをとぶべし去れども猶しては又故就する以ハ改
まして後後の意なり諸々通考すべし▲ゆく吉なるべし人より数ミに付
らすい言なり又志
の幸ひあるべし▲ざい
トを求るあるべし
よろりあれともつひ
に嬉しき事あらず▲産
子とあるのよろび吉
なり▲病治すべし
治してのちつしむ
べし▲失物出る
▲古人行方不知ま
らんなまいる
さりおとろへあり
▲時せるある▲
うごくあの▲お和
あるめの▲きたより来り▲くき木のきたらどまいづ▲あつめよういよしきり▲隣家ろ
めちよるめの

思ふ事皆成就すべし○又此卦の人ハ身よりも宝
をたくハへ卦なれバ所望成就す○婚礼談
し子の数吉但一二度目の縁ハまでに二度の相
談まで道で宜し○往来苦労なり志ら気な
久しからん○望ハ治宜し○産子
もちて〳〵なる中みの意なり○うせものの有
る宜し○待人きたる○縁気をはる
しも宜し

○むかしの諸家の名ありし人物を大てすべて位とりて官者ざるとき一位者一位者のとき大臣を史記に見望之傳

この者ども位ありしとなり又是とは位なしとなり

天雷光妄

雷逢暑震之象
石中蘊玉之意

○新に天理ふたつなくして新の儀よりつくり光妄と名づくみたる事なきに滅なり滅れども世の俗滅滅

すてゆるるとなし故よりの新と滅るべし

偽ら性むくいすくなし故よりの新と滅るべし

○又石中よりたくむもの

新なれば滅れ時ひがつ時ものなり

▲病治をべし

▲失ものい出べし

▲信儀に出るものい測ビ

▲北のかた

▲諸のやたらの事にたより有りまとまるべし

▲天時風出べし

▲古人にあやうきさつひつきらかりしきり▲ひとつくたつきり公儀のとまつきあぶなき

知るべし○悲歎の事又陰神の事りい吉

とし又他人の名ずして已の名ずるとまた

いまと者とし○遠ずして多く仕物だるとまた

り○思ずとつ城面でうさし強てすれば加へ

りて多ひ成うくべし○病人出よあやうく

陰よ安に会あり○婚姻ものべし但し物

で遠方べし○猶予疑い多きなりとも

猶よ出べしなし○待て伝りなり

○六三君子のやうさへ手がら立人のへ妄動んをくずと云なり ▲あんざなり乾ハ健すくも進ず其進をとゞむ是を止めて進まず是大畜の卦の義なり [illegible]

六四妄動んなり手つおふかりやそこむさらうさむ [illegible] きらふの義あらざるの義とする [illegible] と思しむべし [illegible] そのまゝなり ▲ [illegible] をとらうすのたび [illegible] 婦人のみさき げあり ▲銭の事を [illegible] ▲ [illegible] 女びやう しん [illegible] ▲ [illegible] 京北の水 ▲天付 [illegible] 古人ハ来り [illegible]

山天大畜

金在巖中之象
浅水行舟之意

此卦ハ乾の山中に隠れてふるひ起らんとするの卦なり 故に人ハ住居をまつき事を営みてありと知べし ○物を畜ひあり又物をたくはふるの意あれども又損ありて事をする事つまりあり○物のびつまり [illegible] ○訴公事ハ吉○争ひごと [illegible] ○人の性ハ急なる生 [illegible] ありて窮まる [illegible]

すれまして事と失ふ事あり ○婚礼よろし ○縁談よろしからず ○病あり ○待人来らず ○造作移徙ハながし出るとも初めハ来らず

[illegible] ▲ [illegible] ▲ [illegible] ▲ [illegible]

山雷頤

壮士執剣之象
匣中秘物之意

此卦ハ養ふの義にして物の欲動すれども志をし時節の来るを待て養ふ事を肯ふ卦なり [illegible]

○頤ハおとがひなり上あごハうごかずして下あごハうごきて物をかむ [illegible] ▲二陽四陰を含むなれば [illegible] ▲頤ハ中あひなり [illegible]

澤風大過

常山蛇之象

走馬花街之意

二陰その重なるたえず行法四方共に思ふたるずまゝひの意たりまゝ意きこと

二陰その重なるたえず行法四方共に思ふたるずまゝひの意たりまゝ意きこと

此病人月のとを過るとき○人と縁組
をなすべし○婚姻よろしからず○猫
屋あり○遅し○人来るべし○待人来る
○すべて遅るべし

坎為水

二人溺水之象
載宝破舟之意

○坎は險なり險
なるべきよのことわり
なれども○人
くぶるる事なり但
和平をうべつなり
うれひとなげくこと
んどうちんまた非常
のさわりあり○外傷をうべし
又は事多く煩へぞうしとなり

○卦は雅儀固窮の卦なり
○常によろこぶる性
きこえありと知るべし

病は難病なり○猫
婚姻わるし○
○人のこと
ものなりひは放なく
ぞる卦なり後まで
○信不信と
○物は難すくなるべし
遅むこえなり○
ときるのたべひさなり
○婚は多く
たべ○古人は
しきりとなる
人の又は出
目とりのの人
ひろしこそ
あるのの
の○ひきこ
ひきこ
ふ
○ふ
とこ
やはりのの
とこ
の○
の○

○猫は出れども
婚姻わるし○
○人のこと
ものなりひは放なく
ぞる卦なり後まで
○信不信と
○物は難すくなるべし
遅むこえなり○
○猫は出れども
婚姻わるし○
○人のこと
ものなりひは放なく
ぞる卦なり後まで
○信不信と
○物は難すくなるべし
遅むこえなり○
○思ひよりべ

り○色情あり○老夫老婆の婚ら吉なり
女婚礼へうん合せて可なり

離爲火

雑羅網中之象
秋葉飄風之意

卦は離別の都なれば牡丹の花咲さし
き開友あるに別れ去るなり他れども
芳香出来なるゆへ吉とすあらひり通
ひられて名と暴まるまとなるべし

○咸は古易八卦の初爻を
はじめとなし
家然とうどぶ
てこれら天下の感
ん通するのなり
んとりとむるみて
ろわべナホ
ノ行ずれるこ
ユ考こ
の考ん
ろこ考ーてのち
んこ考んつ
ん考の儀なり

生ずる幽玄の理なれば物に像て吉
とする義なり考合せて改めべし

澤山咸 巽宮

山澤通氣之象
鶯吟鳳舞之意

山の上に咸通ずるの象なり思ひ
ざる事ーなり○婚姻養子大吉
○祈願平安○病者○迷惑乃治
○新宅家事ーに
▲人ーに忘れるるなるべし他人とかくぶちもれべるこ
▲人ーに忘れる

有り手ー遂ぐ
ある意なり○色情のあるこ
抵ーすべ○他出遠行
るの意なり

○恒は久の未
ユ考こ
まって恒久
て
ずりどく
ずりの儀

雷風恒 巽宮

山の上の生長する儀なり又物の散失するの意
あるべ事ものすこ
せ
佐西妻ー考ーき人
ーあ

並行相背之象
无咎无誉之意

卜筮かりて終よろしきのきこえあり▲ふるきのこいちん又ゆくことをつゝしむべし▲ぎい
卦すでに動る測ひゞし▲形をもてるのたぐひさろくあり▲蠱はかりゝし▲さんちゆきたれ
ども災なし▲蠱
やまとなり▲きの
出ずして▲病人来
る▲天時ふるる▲古
人の積に宮まりて
人の積に宮まりて
まりてくるべし
めたるなるべし
▲つゝしむ▲商のものの
たびまちもるあり
▲志ちまちまるるる
るべし

きこと業りて宮てに意ひり○信不ずして若
勇ひるべし○万事事ち分一ちの不商をりて
○寿ぬとも久長して後ずるる卦なれば急よする
と皆見ひと知るべし○病安らべし○嫁姻吉
ゝ○孤ひなひがゝ

○遯へ退きさるなり又隱てかくれるのすもよろしうぞちりぞくよろしし
始てよろしうべし▲すべて防ぎの意ちもきあり志ちたのむ
ところ意のうなる人ま
す〳〵防けなり▲
卦は先まちしく
後に通達の意
あり然て終儀の時
まりてこの卦と
ゆべるんぎ消さの
ゝき水ちず▲なる
と解るのたびまま
たげなり婦人に
意▲志ちをきる
たぐひ大ちのようし
うゝず▲指象凶▲
病てこび長く二度ひやひ一▲失却ぞれなるし
べをゆうす解一ゝ人ちゝ徳とくゝ

天山遯

貴人隱山之象
鑿井无泉之意

遯卦は退と訓ず而て信不ちどて財て幸若多
思事和別の宮まりて遯事ゝ遯のたる卦なり
○願望は邪魔まるものありて潤ひゞし○そ
れゝて先ゝと、なり○物事成就のめぐり
元て造間ひゞし却て指毛又は難儀すること
なり○即時の種きそとは用ゐも可なり○病人

引かれて行くの▲引みるの▲抜擢すること▲すべての

雷天大壯

猛虎生角之象
夜行錦衣之意

○吉なれども凶なり○婚姻成ずの象○待人来れども○他所より来るの象○失物空○牡羊角を生ずの象○猛虎角を生ずの象○錦を夜行の象

文をなるゝ〇せつ〳〵ものすくなし〇こゝろざしたるゝ〇さきの用をたちて
のちの用をよくぬるの

山澤は新旨の登る象有て卯月〳〵ちん圓て
新しらせ穀を越くゝ意はりまく人より
よてる人より惠よりあづる新あり〇信の物
意はりたるひ信者の報答するとゝもに代
の事を有今まゝと変ずる意事あるべし〇
新旨叶の爲〳〵すし遠〳〵〇久遠平穩〳〵
たる人よりあるこゝろのるべし〇又中あり〇人と中
なる意はり〇物ばゝ意あり〇病人凶

〇喪ゝ亡るあり去〳〵よりろせば位居去んくあり〇ふゝよのさいちんまちひあるべし紀
れども内あゝこゝろよそと去てゝ〇ゝまゝたひゝゝ〇中まゝきの儀ありうれるゝことなれ久
しゝゝずゝて去〇
人のうゝこゝひとゝさく
爲ゝ〇きゝうゝく
の意はり〇然ゝず
と求るのたゞひゝさを
ゝゝびあり紀れども
つひゝんとるべゝ〇
嬉ゝるゝすゝは去
あるゝし〇喜ゝなゞ
れゝゝゝ〇待ゝ人き
ゝらず〇実時はあ
る〇若人ゝとゝん
れゝとゝはたる人喜
ゝゝゝんひゝゝら

〇嬉娛
〇待て伝あり〇信西の人凶
〇招客平〇笑ゝ意ゝく招意べ
は新鮮沢ゝ凶

地火明夷 嬉ゝる

囊中有物之象
雨後苔色之意

は新日の地中ゝ入て分かゝゝざるの意はり
故ゝ人ゝ惠ゝ事ゝ〇ゝひ難儀逆意するて
ある〇意は新ゝと訓字まて使ある意ふ凶
難事もはゝしむ酒しまゝれどもけゝ凶

わゝゝあゝき人〇日ゝつくゝるの意きゝるるの〇ゝゝるれ中ゝきゝるの〇ゝさるるりの〇すべ
てゝくゝるの〇なゝゝゝるるるの〇死きゝるの〇ゝきゝるの〇ゝちゝぶり

困窮して後は家老もるの都ちれば終くしん
主君出世とす○四ひしの女難を更ること
あり慎むべし○人と商屋と論ること、けり時
よりて利口者と者とを
世を思ひ都て学ひ成事
ぐ成ことまつべし○仕事よろしうして○
婚姻は吉なり○猫安し○病急し○
失物はぐ〻し○湯なるの徴なし

○家人へ都合よく調ひて吉し○むの家にのれども都世の人かくのごとくあるものすくなし○家内和睦あり○ひとりしらんを
ふせぐべし如縁
とてもむべし○ふ
どんをくわさ
いんちゃくべし○た
さいの船○赤ものを
さるべしよろ
しくべし○然るを
求ることのひとし
○嫁とくべし○失
物あり○行方
へ問ひたまちる人
訪寄の言つく人
のたすけまるもの
の○主家なるもの
○ひとりかちあるもの○ぞりよかるもの○家とつかりの○人の出一れ○ときをまろ
○ちくてなるもの

風火家人

従窓見月之象
有氣無形之意

世都へ家内安寧まるの都なり万事よること
婦女とそつてまびあり○婚姻吉○作
事遅し○病急し○失物出べし○
清人来べし○家事の世話あるべし○三身名
利の望ひとべし○新宅造り○性質人い色
情のあること○婚い物もの色よ住せずくるある

とも人より親しく接すべし

火澤睽　桃李競發之象　方圓有用之意

山部の人心相違ひ遠ざかる事なり婚姻は
他郷にて多く暫時にして大吉なり
○女難の卦なり○中幸甚多く又行宮の
礼

○睽はそむきて
なるなり火の澤の
上り中女の事
その智もむきを同
うせざる事あれ
むくゆることなし
くきちがひきまち
げなり男女とも
けんかをなさ
むきいろもとる
べし[illegible]
て外交[illegible]
又年中は面白
人とも高ぶる[illegible]

もちろんそむきて物の用をなす

るなり○人と中絶る言あり○歌僑き
る事なりと[illegible]
れども意[illegible]
り○[illegible]人をもつて[illegible]
なり或いは[illegible]
○孫澤[illegible]
もの[illegible]

○[illegible]
○[illegible]
○[illegible]

○蹇は石しるり故に險難なり艮は止まるなり艮は山なり險難にして止まるなり故に蹇は山の上に水あり水は山の下にあり故に蹇は山の上に水あり

水山蹇

門前有陷之象
寒蟬悲風之意

○卦は龍の動を失して宝殿にして孝者の家なり○行は善事あり物事九五の爻辛酉の長に久しくして吉なり○人は郡にひんぬり○病は郡にひんぬり○宅は南方なり○婚は遠なり○訟は遠なり○財は遠なり○求は遠なり○失は遠なり○待は遠なり○訟は遠なり○婚は遠なり○病は遠なり○行人は遠なり○天時は雨なり○行人は力なり○あやまりなり○きとくなり○あらきなり○ふかし○さくなり○引みなり○すぐなり○あり○なきなり

雷水解

○解は脱なり難を解なり

○卦は龍の動を遠まきにして解なり○人は郡にひんぬり○病は郡にひんぬり○宅は南方なり○婚は遠なり○訟は遠なり○財は遠なり○求は遠なり○失は遠なり○待は遠なり○訟は遠なり○婚は遠なり○病は遠なり○行人は遠なり○天時は雨なり○行人は力なり○あやまりなり○きとくなり○あらきなり○ふかし○さくなり○引みなり○すぐなり○あり○なきなり

ひびき

渉川未乾之象
雷雨緩散之意

ちんとあつまるべし▲病あるものは治まるべし▲災難まつたく出べからざる時
あるは去人ハ損り文をあるに又時によりぬく▲ぐるひよきもの▲うぞあるり▲あべるり
▲さそりなるべし▲さ
しるもり

よろるべし○病難と結むべし○蠱毒と結むべし○蠱毒と結むへ
吉但し蠱毒の場ばかりなるべし○出產安
○物事文成る事なり○災難有○稽人まねし

山澤損

貴賤正位之象
損奢存孚之意

山部へりて減少とそ物の損失の部あれども今の
の人ハ部て望とを慮と利益て治るうる者て
れば到ちてすまあ
ちこの部ハ少人
吉▲財を求るの新吉▲吉凶とあるのたぐひ▲損りまつたり▲災難
むるー西北▲天時あり▲去人ハ去者の人うく報くきまとある人苦労ある人▲ぶ

ちり▲とり損りう▲取りのるものの▲ぶまとあるり▲いろとりなるう▲ひびきあるり

ぶちどとる財損失なるべー物れども儀
の損ちと天益とす○ちよるすなるべ
そろくとるとなる乾ちそ一度て損ひ
ちとハ三月ハ三月もかはとバ必ずし
○立身出世なるべし○病人吉○婚姻吉○旅客
吉とるべし○失物吉○待人来べ

風雷益

風拂蘆花之象
來耜利邦之意

○益ハ益すなり卦ちんとあきするの
義ちろきとあるの
あるの部なり▲お
望ちなるて他人
まべとあるべ
▲旅客あんのいちべずおべろきまと他ぐひ
ぶれどもとりよのさつりあるべー▲財事求るのたぐひ

▲[illegible]▲[illegible]▲[illegible]

○姤は[illegible]

天風姤

果有樹頭之象
鳳出逢鸞之意

卦は一陰[illegible]して五陽よりあくべきの女のごとし○[illegible]○[illegible]

○思ひもよらぬことにて[illegible]

卦は[illegible]

○[illegible]

○[illegible]

○

人と同じく求るようにすべし△あやまちさるのごとくひとしくすべし△うせものは出べし△百事はかりごとをければ用ゆたるぬりのとまるべし△天時ひとり有べし△今人は
ものうきの人と交友なり△ひとり慎むべし○中絶り
△古人をたづぬるに手
きゝこのむところあ
るべし△こゝろを吳
るべし△揚雄云
つもりのよ

家族の憂あり
慎むべし○
ものの人よめづらしまれに親しくする事なり○
疾人公○
病者○
猶不幸なり○
情人
来る○うせものは出べし○悪人をまねくこと
あり慎むべし○
親類なるべし○
ふしんのさはりあり

○升はすむあり
のぶるなりまく十分を升とよむ
卦とるものの吉凶
吉なりぶぶくくらのそ吹ぜぶ卦よりふくの吉なり△ちくふ吉なり△ちくふ吉なり△ちくふ吉なり△ちくふ吉なり△ちくふ吉なり

地風升

橋工往来之象
三月有説之意

地の中より樹
生まれる象にして
盛なる事之
○信義あり
○安寧あり
○新望あり
○ふしんさん
○病人あり
○さん
○たびに出べし
○

地の中より樹
生まれる象にして
盛なる事之
○信義あり
○安寧あり
○新望あり
○ふしんさん
○病人あり
○さん
○たびに出べし
○

まちくんの来たりゆく者かなるべし通じ

澤水困

鵜啼枯木之象
澤中脱湿之意

困は困窮難儀の卦なり諸事不自由よ
ろづ苦労あり行きて卦なり○
信を守りて難の辛苦あるべし素なるべ
なり▲困はくるしみなり▲困
ふるまるのたぐひ
ばかりまちびあれ
ども徳さまるあり▲困はくるべし▲先のの出
しく人の屈んどなどみたりて狼狽うべ
まるよ苦労なり○死生叫ひ
なりとも苦労人の救ひと
人ハうんうん苦労せ
ひとりひるまるれしの▲ぬとへ

困れるもの▲すきとおるもの▲高ぶるもの▲ぐひとまるもの▲土
石▲すてるもの▲捨てるもの▲拾ふもの▲脅ふもの▲ちりもの
▲申ときまり

出世まること○學者は卦を浮べ
を明の渡へ子が一家のなんあり
場るべし○病難を結むべし○婚いん
吉○猛暴凶○中ひ潜すべし○遊
ねぬべし○若きあれどものちは栄花と
繁むべし○侍人逆

水風井

海人求魚之象
病夫行市之意

○井は水をとりて坂
水の下に入て其水
を上へ引上る象
なり▲井のまい
刑の象と通じたるとなるべし刑戮の意あり▲きりたるもの意なり▲おし逆
て大きなるふる田畑をさぐるもの▲うれひとふくむ意なり▲

結婚　結婚はたがひにたがひよろこばんことをもとめ▲婚姻はたがひにたがひよろこばんことをもとめ▲先りの歩者▲待人来る

時節　人事　人事はいつもかはりやすしいつもかはりやすしずいぶんの職業をつとめて職業

新規のこと　新規のことはかるがるしくなすべからず▲婚姻未吉▲病未吉▲訟未吉▲求財未吉▲失物未吉▲行人未来

○婚姻未吉○病未吉○訟未吉○出行未吉○失物未吉○行人未来

○婚姻はあるべし○他郷よりの帰りもよし

○思ひ事はすみやかなりなれども大事なれ

きまりなりなるべし

○華はあるべし○悪とさるもののひとりごとの変動するとしるべしすべてまちびとあり

求官　求官

澤火革

腐草螢火之象

賣金買物之意

革命の方事改まるべし

世の間ひらけざるの象

とすべし

○肉はよし

○酒食の儀はいれば新酒よし

初は調ひ

丑寅の時は人事

○紅葉

○天時はれるときはあり▲方人はかりごとあり▲深

しづまりつきありひつよくなりたりきかり▲おとびきかり▲そこなるもの

うり或はふでんなどの世話なる屋〜○色
情あり如雷と情むべし○抱のつきそへ婚る
意なり○意外出世なり如そ〜○筆信
と情むべし○さいこうひなれども愚ごとく
意あり○婚姻なゝず○猶予年○病大
てい深がし○業拍子○行人ひきなり

火風鼎

鼎爲調味之象
微服過乘之意

○鼎は訂なり書
らしきなり▲如そ
なるなり▲鼎足の義と通
考すべし▲鼎のきざし〜ふんの場あり▲財事を求るのごとひなるべし〜人のうたがひ
なるべし▲夫すの五はしなり▲病あり〜▲夫すの五はしなり

▲天時あり▲古人あるべひなるう

○震は起なり陽
出なり古大人よ
し〜▲第人よ世
急なり〜ちとげ
ず▲飛ぶなり
傾うとなり
りごえる意なり▲
住なあんなあり
思なおり▲

日なり情むべし○婚姻ある○猶予安ら
び○病変なり○行人来る

震爲雷

二龍競玉之象
有聲無形之意

雷は卦なれども
是も常人なり大抵なり〜〜
卦なきの卦なれば音四なり如て利益なし
とし〜べ○傷害の人威勢なる人出よ

▲財なりとなるなり〜〜▲所おとさるのたぐひなり〜▲
婚は敵和嫁となるそのりなるぬきぐし〜なり▲猶去らず▲病西▲行人まるひ

▲英物室―東方▲天竺▲左人▲ちうこくの人のいきたる人ちうこくあるの人▲ひとくちうこくのものと審にして斷ずべし○物の變動するあり又變化あり○世にてはあるこあり○
○猿猴追まぎるこ
○羊岳こんぜんたるまちがひあり又公和せられひとてはちうこひあし
○退きぶとうぐくるまちがれそむくべし
▲あたるのぐひとうしべ▲病人安らべ○猿猴際
▲英物むちし○侍人伝たり○

艮爲山

山上鎖関之象
葛藟纏身之意

ぶんたり文字なるうちちちるう▲つまみあるう▲ひきくろうたり▲ひやうたどうり▲救
なるもの▲ふとさをまるもの▲まくらくむろ
生動へ歩るるよりはいむよ指あり憂ある
山重りたる儀と不ず物事中ハ相ひ違
酒をしがし○発き雅儀まこハ限
状空る撥たりて外より救ひ助けの
意たり○出で帰る左とそれ遂意する
こたり○丁寧なるこたり○潮しく高人
命の○雪国平○病ひしがし○美るもの
なり○猿堂安らべ○侍人来べ

○漸はすすむなり次第にして去るなり▲又すのゆうびなり はあをうのもの
なり▲徽猶のきざし▲はあ幸むうの去たれども一定すべからざ
る意のあるべし 凶 ▲ひとりの人ひとりの人 ▲ひとりの人ひとりの人
ありて

出べし○待人来る

雷火豊

俊集獲雉之象
残花待雨之意

此卦は盛大の勢ひある卦なれども解り大過して却てさきつゝ枝葉多くべし○たとへば水中の月の如く因よ見てそれよ形れぬさる考へ合すべし○虚玄源計ある卦なり○思ひよらぬ疑るきたるべし○損失なり

○豊は多なり世ひ大なりなどゝ人への尊びなり方なり

此卦は盛大の勢ひある卦なれども解り大過して却てさきつゝ枝葉多くべし○たとへば水中の月の如く因よ見てそれよ形れぬさる考へ合すべし○虚玄源計ある卦なり○思ひよらぬ疑るきたるべし○損失なり

○豊は多なり世ひ大なりなどゝ人への尊びなり方なり

き人▲大なるもの▲的のようなるもの▲ふくゝし▲たるきのもの▲こんりのもの▲家のもの

○こんきうふべし

火山旅

日傾西山之象
見鳥失矢之意

此卦は暗よりして明よりして明よりして暗よりして明よりして暗よりして明よりして暗

ちるりの△あるうれぬりの△秋ごででるりの△すえてあくもの

○[illegible]のごとく安うぬと動ぶし

○住所は貴多く旅宿りして居るなくん

げそく思ふ○旅行の吉無益とそぐ

○[illegible]人に出とす一時ちるく[illegible]

○親と[illegible]国に[illegible]漂漫の人ごとなり○婚姻[illegible]

うび○[illegible]なやまなり○[illegible]多くよる身

○まちく来る

○歎は敷るなり人なり[illegible]

○[illegible]

巽爲風

颱風覆舟之象

枝折幹仆之意

○[illegible]は[illegible]の[illegible]なり

[illegible]

[illegible]

[illegible]

○兌は怪くあつまるなり卦の順ずるなり陽はすなわち全くこれ陰と解せず或は陰と陽とのうちとの係となり

○高へ山の上なり○決は物をくだくなり○澤は水のあつまるなり○雜卦に澤とあるべし

兌爲澤

新月映池之象
有譽有議之意

過ぎ去りの頭なり動はしてよれ動はれども物の
所帰なく物の考へ合せて物を隱し
又外見のよく内へ入るなり たとへば傳へへの
きてざー 孤は孤なるのたぐひなり ▲孤は安し ▲字ひあやうし 孤れども法すべき

のきぐ ▲決は出がゝー 未は ▲天は多なるの ▲ぐはひきのの

ぬー ○人の集るの儀なり ○異は事ひなりと
知るべし ○色は色のあるなり ○紅は度び病
人を多しかるべし ○文學の事 ○牙は芽なり ○潟は
者 ○猛は平なり ○暗は昏なり ○沙は人なり

風水渙

順風駕帆之象
萍水相逢之意

過ぎ去りて事の跡と為る

○渙は散なり又
ぬ人をかれ水なり
ぬのうそ又学ぶ
の後あり人の中へ
どうするとをつ
しむべー ▲結は
と為るべし ▲渙は散と平 ▲渙は散るべー すこー 渙は散るべし ▲孤は安ま
ら渙散の時は憂なり ▲決りの定 ▲天は時なる ▲今人をべ人をべ人をとをなりてまと

[illegible]

[illegible]

[illegible]

弱星叶ひがたし○疾病ありてかたし○こん
姻辛しして遅し○病人凶○失物出がたし○
待人来れば

風澤中浮 ䷼

鍋金得蓋之象
鶴鳴子和之意

此卦八流行の卦なり○人の心
変易すること水の如くなり○
ゆくときは加へ進むべし他よりくるときは
人の為に留まるなり又こちらとそこなうなり
さきのやうなきもの

○字八偏あり起造
する事は吉なり
○家内
○財産
○横財する
○婚姻
○人のこと
○旅
○訴訟
○出産
○失物
○病人
○待人
○出産
○失物
○人の
○出産
○出産
○出産

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

○人と中の絶るを言なり○又常の仮なり○姻

[illegible]

[illegible]

○既へつるなり[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

○前の蹇濟は歩

火水未濟

曉光浮海之象
花落結實之意

比新しくの成就なる動かなりいまだ用ひなき
ず拘れども是ぞ濟の爻なるべし
歳時の事を求めて濟し難し
仙女の民を率ひ人を
人なり○其所為を
初九○
○孚幸吉
○孚幸吉
○孚幸吉

八筮附錄

掛物式をつて其名吠と南を易の本義よりつゞ是易は一物と物るとの也まの事今まで始てあるまゝ
あらべ既よ三國の代よ管輅ゞめき長ずるのなり世
よ郭子和の拡易ゞ仙ゞ[illegible]
理と藏るの極所して古易と呼ぶもの法法とする
所なり是金ゞたゞ[illegible]なり初学の徒ゞ
八卦の象ゞ[illegible]の式ゞ[illegible]
集編してすこし[illegible]今是
自得するものよ[illegible]

○晴蓋明人事
[illegible]式武[illegible]
高名[illegible]
[illegible]節あきす月
のあり[illegible]
月日時[illegible]金の年
月日時[illegible]
[illegible]
[illegible]

の鴨猫いとち鞭ざと鞭分の白き貝ろろ▲米食酒皇帝屋食豆腐大豆牛房
芋平古根豆名本喫の▲墨地筆紙硯箱袁奥ろ▲の▲墨地筆紙硯箱袁奥ろ▲の▲墨地筆紙硯箱袁奥ろ▲の▲墨地筆紙硯箱袁奥ろ

拾て勿る　居所以上天文地理の類　君父老人長者　家位の有人
余八逆物すべし

死人　懶貪　邪佞　癲狂　溫純の類　首
骨　脳　以上分ユ屬す所の新生の類

乾ル天の朴ちれば想じて物と
癒ふの傷ふる故ふ新鮮ふ物ふ
毒きと色ともに白きさもとなり
乾燥のもの　幸福物　孤ふしき物
石古跡記し悪屋傳ありてこれよりふ

押る物▲電光の去▲ひらつくり▲ろろく▲の▲やりろく▲ちる▲去きもの▲ろ

の▲ろきの▲ろの▲ろ▲ろ▲ろ

ふとり強と四方ともよろしく…

○離の時は南方

離火三

二七 浮虚不静の解と考べし

離は麗なり 一陰二陽の間につくなり

離すべて美事なる者の形容なるべし

蟹 亀 松 竹 二の数より貝虫外強内

空 社 竈のある所

同 電 虹 霞 森

乾地 宮

焼窯の所 中女 文人 猶の大なる人 衣冠士 鏡

○震は浮草 東方 南市 行林 大途 人事地動 怒慶多 秘 財 市 春三月 卯の年 月日 辰巳 金東 向山林 楼閣 社 すべて春はじめ吉 秋凶 姓名 南 青木 草 姓氏 乙卯 雀 舟人 赤 花 母 泥 細 東 葉 歌の数 走獣 花 流水 船 衣 長

又美見 眼の明らかなる人 汗などの出るもの 紙類 青葉 物 掛 文人の中の虚なるもの 六の

病あり 内心 上焦 病 熱病 時疫 服 心痛の類 據て初るべし 詩歌 文書 甲冑 戈兵 花木 橋木上の拍 視 情 物 黄 腓肉 物よりて殺ある色 赤紅

八三 禍福おのれより生ずる

○震雷 四

震は動くなり 一陽下よりうごく 雲 雨 雷

離鬼 諸虫 鵜 馬 竹 鶴

▲言葉▲彩文車▲妻▲妬▲高▲▲中▲妻▲▲陽▲行▲養▲子▲吉▲妾▲
▲辛▲子▲人▲雑▲▲▲人▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲下▲動▲▲▲▲
▲角▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲

する也▲拾きるの▲さきのとがりたる也▲きれいかするりの▲ひびかるゝ▲しめつる

顙の廣き人 髮八陰血ヨリ屬ス注釈ハ場 進て退て果さゞる時 不定の儀 脇 股 氣 病ハ中風 癲癇 風邪 食物ハ山林の味蔬 藥 酸味 利欲の義 ハ青緑又ハ潔白

坎水六 一

▲進退ヨ險なる意

坎無陷あり 陰中に溜る邪氣 家 内つよく外柔ヨ文 外強て内さゝず 魚 狐の類 馬 ハ首尾なる

○地理北方江湖 溪澗泉井泉澤池 溝渠沼沢人事 事ハ外柔内剛深 沼▲時序冬十月 子の年月日時▲ 辰戌丑未の月 增 文表▲手足▲長物弓繩▲家▲月▲腐▲呻吟▲○手足▲刀のりつむ刀のろ人多くる▲荒実

▲長神▲色青▲裏苦あり▲危き多あり▲不定ある義▲陰陽の人▲後々とゝ多年長 ▲実ありて人ハ多年ヨリ為ゝ考ふべし▲たゝこまる物▲多生れてゝ生ずる物▲ 堅くも脆し 多くの沙石 数 りの▲沙石 てふつゞかるもの▲ 色くま用るもの▲ さしこむ入ろろ なるもの▲ひつゞく ▲ひつくる

寿又湿き蹄 脊の美 馬 赤色 ある馬 ヨ寿 見 高 高 卦の象 見 雨 雪 霜 露 雲 月 物 水辺 弓 輪 鐵器 水 晶 水中の物 樓 樓 木 堅くこの多きもの 宮 棟 叢 棘 藜 柳のある物 中男 舟人 盜 流浪の人 憂ある人 妻 接すべし 酒の人 耳 血 腎 病も上に准して実法 水腎の類 接すべし 聲 聞 食物 ハ水中の物 又ハ脊の多きもの 海味 鹽

○時序冬春の間十二月丑寅の年月日時戊巳の年は春の占は凶▲病脾胃▲姓名官青土の姓氏▲甘▲壷儀▲脾胃▲草木▲山名▲のあるもの▲香歌延▲[illegible]の如きもの▲水気▲川▲月夜▲名所▲閑居▲遠▲大事▲終りぐ〳〵ふるへ又妨あり▲思ふまゝ通ず〳〵実有て時よあざるの表▲蓋のあるもの▲押る物▲上のひらきたるもの▲たたれるもの▲首のつまれるもの▲中のくびれあるもの▲万動き

接ある物色は黒水の色の赤血の如きより味は鹹し一通ぶるとき険難物と称る怠殊褥寝所

艮山七 五十

▲限ありて進まざるの意

艮は止るなり陽上よりくだるなり

狗外強く内柔して虎闘百舎すべて多は肩を用て頂の後箭人よこびあり〳〵とん長き獣孤坎の卦の義と異りて坐の強き表土石藻瓠果蔬菱生

するの象土中の物木すべて八節を〆て陽上なり

雲霧嵐往路丘墳墓門関門の内外閣

寺寺人とは王宮中門の番人なり出入を梦ふぐる役少へ艮の止るの義をとる少男宰

人囚社家山伏の類多指骨背身体中の山〻

狗痲とは痲とは阻滞反進退不決食物は土中の物野生の物黄色

坤地八 五十

▲漸あり頓あきの意

坤は順なり陰陽順の儀なり牛牝馬百獣

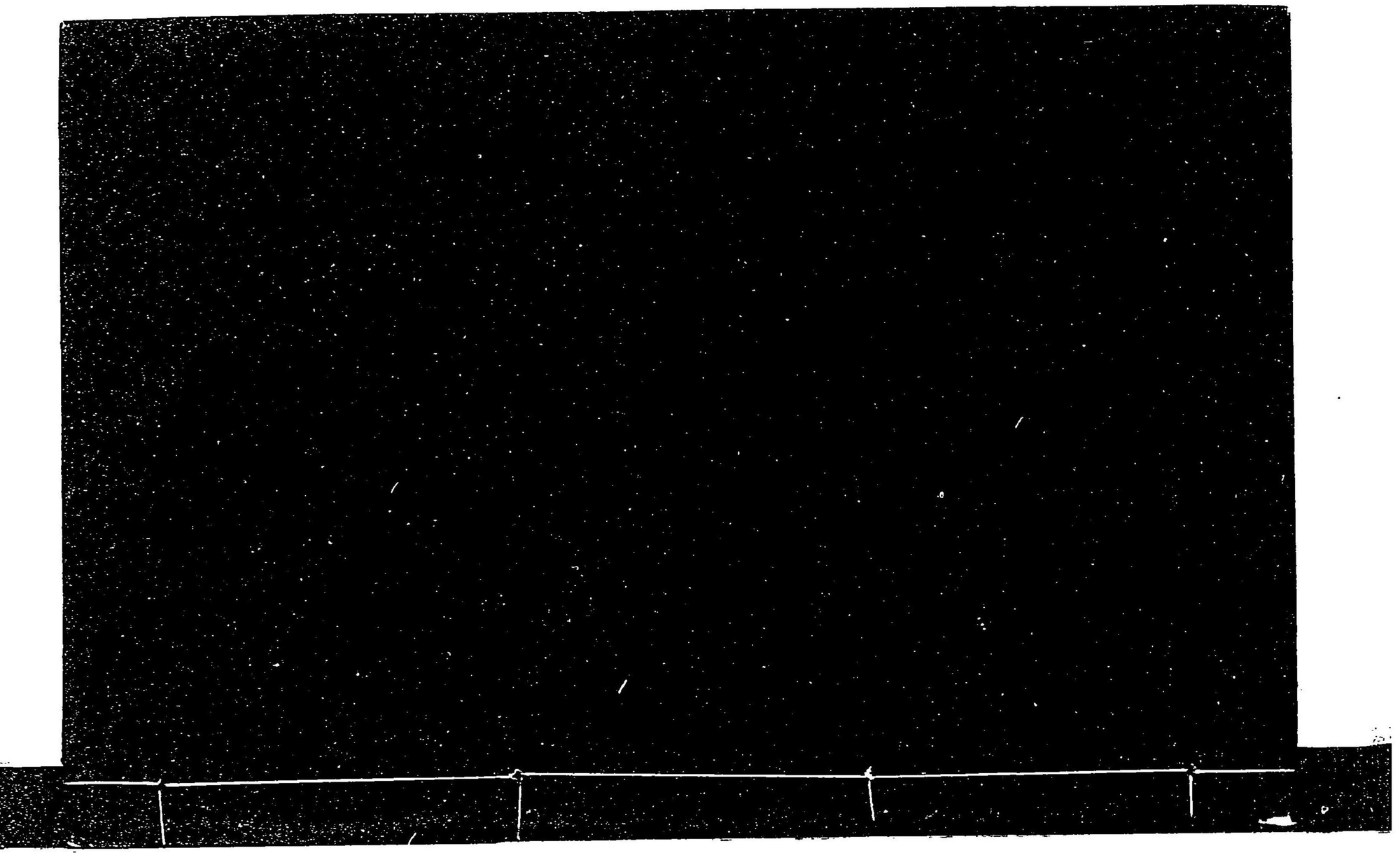
○西南▲辰戌丑未の月未申の年月日時八五十の月▲屋舎矮屋図室▲家宅安穏春占は安の氏は卦すべて夏秋吉春は凶なり▲歌の良未穏穏穏のもの暑年爭のもの▲姓名官青土帯る姓の人行径は五十▲芙蓉なり▲香哥延▲古跡▲旅行▲居所▲地

衆人親しみ用ひて愛する所なり迷ひの所又疑ふ所 又利益ありて善悪ともに
同類なりとなす人教へよる事助けあり扶失あり又益あり平熟するもの口上つく
物移るもの動
名付の飾るり 布帛 綿 木綿 瓦器 すべて土器 輿車 地の物 乗物の類
あり色ある物 代あり金 方物 釜中庫すべて物と 嚢 乗ちる物
こまやかなるもの 多るの代りに推よし
るきもの物ひ
つくりとつく
金銀銅鉄等すべて 此の多きもの 拓のある物 貳真の類 五穀 土中の物 嚢 天蓋
霧 田野 平地 倉庫 村舎 腐草 石 大ある人 老女 農人 樂人 音響 天地 文章
内脾胃 病人是に同じ 飲食停滯 食物 村野の物 凝 凝滯の類 大陰の属
味い甘 色い黄 遅い
小釜附録 終

明治廿三年十二月廿五日印刷
同 廿四年一月八日飜刻出版

元版人 菊屋幸三郎 日本橋區馬喰町二丁目

飜刻印刷兼發行人 東京府平民 齋藤榮作 本所區横網壹丁目十三番地



師とをそろう▲かくみのうちふあるう▲上ヤすまちがう▲いとひゑとをそろう▲さーまむう▲
ゲいとさりの▲うぢがるりの

迫くたづれ求むべし○待人来べし

地水師

▲天馬群を出る

地勢臨淵之象
以寡伏衆之意

○卦は大人の徳にして堅固孝子なれば吉なり考
人を大抵利うべしひとを惜むべし○猛者不
心喜苦あり惜むべし○人よりもよろこ
喜なり大人を喜ぶべし○物の入惜て敵でとに
○人の敵とする所あり事よりて考べし○源頼

師とをそろう▲かくみのうちふあるう▲上ヤすまちがう▲いとひゑとをそろう▲さーまむう▲
ゲいとさりの▲うぢがるりの

たづれ求むべし○待人来べし

地水師

▲天馬群を出る

地勢臨淵之象
以寡伏衆之意

○卦は大人の徳にして堅固孝子なれば吉なり考
人を大抵利うべしひとを惜むべし○猛者不
心喜苦あり惜むべし○人よりもよろこ
喜なり大人を喜ぶべし○物の入惜て敵でとに
○人の敵とする所あり事よりて考べし○源頼